

各 位

上場会社名	株式会社 研創
代表者	代表取締役社長 林 良一
(コード番号	7939)
問合せ先責任者	総務部長 浦上 忠久
(TEL	082-840-1000)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月23日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,133	△59	△73	△78	△19.50
今回発表予想(B)	1,921	△155	△166	△191	△47.76
増減額(B-A)	△212	△96	△93	△113	――
増減率(%)	△9.9	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	2,302	24	6	△298	△74.68

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,900	195	176	100	25.00
今回発表予想(B)	4,500	52	36	5	1.25
増減額(B-A)	△400	△143	△140	△95	――
増減率(%)	△8.2	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	4,829	220	184	△136	△34.05

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,068	△63	△76	△81	△20.25
今回発表予想(B)	1,886	△146	△158	△182	△45.51
増減額(B-A)	△182	△83	△82	△101	――
増減率(%)	△8.8	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	2,269	25	9	△288	△72.11

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,770	187	169	93	23.25
今回発表予想(B)	4,399	59	43	13	3.25
増減額(B-A)	△371	△128	△126	△80	――
増減率(%)	△7.8	――	――	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	4,430	218	184	△130	△34.05

### 修正の理由

当連結会計年度及び当事業年度は民間住宅建築投資の伸び率は2007年度に比べれば拡大傾向にあるとの予測に基づき計画を立てておりましたが、当第1四半期における国内経済は、収束の兆しが見られない原油をはじめとする原材料価格の高騰に加え、米国サブプライムローン問題の影響による世界的な株価下落や円高等により、景気の減速懸念が一層強まった状況でありました。中でも、当社が受注の拠り所としておりますビル建築業界におきましては、鉄鋼価格の高騰によるビル建築の中止、延期等が多くみられ、ビルに付帯するサインの需要も著しく減少し、厳しい受注環境が続いております。このような環境の中、当社は採算重視と厳格な与信・債権管理を念頭に置きながら、攻撃型営業を推進し、収益確保に取り組んでまいりました。しかしながら上述のごとく景気減速の中でのサイン需要減少を克服することができず当初予想の売上・利益を確保することができませんでした。また、計画以上の特別損失及び税金費用の発生が見込まれることから、現時点での平成21年3月期の業績予想につきまして修正いたしました。

以 上